

「高野山古事の森」 見学会を開催しました。

(「第49回全国育樹祭」の記念行事)

【和歌山森林管理署】

11月8日(土)和歌山県高野町において、紅葉が映える秋晴れの中、一般参加者20名を迎え、伝統的木造建築物の修復や復旧に必要となる特殊な大径長尺材の供給を目指して設定された「高野山古事の森」の見学会を開催しました。

当日は、将来の用途となる伝統的木造建築物の一例として、一般公開されていない「世界遺産 高野山 壇上伽藍西塔」内部を、金剛峯寺 霊宝館 館長 大森照龍氏にご案内いただきました。歴史深いお話と普段見ることができない極彩色の内部と貴重な仏像等に魅了されました。

その後、「高野山 古事の森」(高野山国有林242林班)まで移動し、ドローンを使用し古事の森の成長を上空からの映像で見ていただき、古事の森づくりの概要説明を行いました。参加者からは、「毎年楽しみにしており、来年も参加したい。」「国がこのようなことをしているのをこれからもアピールしてください。」等の感想とご意見をいただき、有意義な一日となりました。

今後も、古事の森PR活動等を続けてまいりたいと思います。



世界遺産高野山 壇上伽藍西塔



高野山 古事の森



モニターに映し出されるドローンの映像により
古事の森の成長を確認



参加者全員で記念撮影